

おしゃれ、お出かけ情報、恋の相談…

障害者も女子カアッ

フリーペーパー発行

東京の20~40代 女性が自ら取材 同年代へメール

日曜の午前8時半。東京都中野区の事務所がスタート。情報交換の場がスタート。フリーペーパー「CoCoLife」の発行準備中。

◆情報交換の場

東京都中野区の事務所がスタート。情報交換の場がスタート。フリーペーパー「CoCoLife」の発行準備中。

「手を使えない友達 一緒に協賛金、広告料 採りの女性に「今度自分たちで」

◆告白され困惑

「リアフリーな恋愛テクニック」をテーマにした座談会には20



表紙の撮影に臨む横田さくらさん＝東京都千代田区

さまざまな障害がある20~40代の女性が、自ら障害者取材して記事を書いたフリーペーパー「CoCoLife」(ユニゾフ)女子部が発行された。目指すのは「女子カアッ」。おしゃれやお出かけ情報、恋の悩みを話し合う座談会も盛り込んだ。「二歩踏み出すきっかけ」と外出や出会いをためらいがちな同年代の女性を応援する。



フリーペーパー「CoCoLife」女子部

40代の4人が参加。元々は、一般企業の健康増進の男性に付き合っていた。正社員として働きながら、夜や休日も取材。執事の白感、外見で筆した。東京スカイツリーは分らない障害の伝(東京都中野区)の司会者も、女子で。また、ゆるい韻子に自信を持つために、動く車椅子で進めたら、自分自身で考えて「こころ」自力では無理と、その声も話して、忘れなかった。

スタッフは半分がボランティア。編集者の募集を頼まずに頑張る仕事をしてみた。自分達という先天性骨格に限りはある。でも大成不全の星水小百合さん(取材をしてみて、夢を諦めずに頑張る。自分達という先天性骨格に限りはある。でも大成不全の星水小百合さん(取材をしてみて、夢を諦めずに頑張る。自分達という先天性骨格に限りはある。でも大成不全の星水小百合さん)

2012
スクラブル

さまざまな障害がある20～40代の女性が、自ら障害者も取材して記事を書いたフリーペーパー「Co-Co Life (ココラフ) 女子部」が発行された。目指すのは「女子力」アップ。おしゃれやお出かけ情報、恋の悩みを話し合う座談会も盛り込んだ。「一步踏み出すきっかけを」と外出や出合いをためらいがちな同年代の女性を応援する。

障害者

女子力アップ

表紙の撮影に臨む横田さくらさん＝7月、東京都千代田区



20～40代 自ら取材、フリーペーパー発行

日曜の午前8時半。東京都中野区の事務所で、メーク待ちに「今度は自分たちで」集の撮影が始まった。

と呼び掛けた。

モデルは知的障害のある町田萌香さん(24)。両下肢機能障害の藤井晶恵さん(29)が、27日(月)、B5判16頁、オメガを取りながらアイシャドウの塗り方を尋ねる。「手で部 障害者支援のNPOから発行。9月には全国の協(化粧品店)チップを持って、病院内にも届けたい。今後、なるべく、どうすればいいか、病院にも届けたい。今後、なるべく、どうすればいいか、病院にも届けたい。今後、なるべく、どうすればいいか、病院にも届けたい。」

藤井さんは「普通の女子

「手を使えない友達もいる。にで、できることが私たちにはどんな障害のある人に向けて、難しいこともある。情報交換、書けばいいのかな」藤井さん、東京丸の内のおフィス、井さん。

も、でも、2008年、福社機構のレンタル・販売会社の経営者が有料の季刊誌「ココラフ」を発行。しかし、脊髄炎の発症後遺症で足が不告料が入らず13号で休刊した。当時の編集者が、読者も、た後、車椅子にもよって、

おしゃれや恋 一步踏み出すきっかけに

慣れた。カメラマンから「車椅子をあまり握り締めないで」と声を掛けられ、「どうしたら自然な笑顔になるのかわからなくて」と照れ笑いした。「ハリアワー」な恋愛テクニックをアーマに聞いた藤井さんには20～40代の4人が参加。健常者の男性に付き合っ「はい」と言われたときの戸惑い、外見では分からない障害の伝え方。悩みや体験を打ち明けた。車椅子の同会者は「女子である

ことを楽しむ、自分に自信を持つために」と考え、「ことが大切だと締めくくった。

スタッフがボランティア。「編集の仕事をしてみたかった」と、先天性骨形成不全の榎水直美さん(44)は、「一般企業の正社員として働きながら休日に取材、執筆した。東京カワイイ(東京都墨田区)の取材では、車椅子でも十分楽しめる評価。ただし、ゆるい傾斜のある天廻り車を手動の車椅子で進むのは「自力では無理」との声も。と記すことも忘れなかった。

「取材をしてみて『夢を諦めずに頑張ってください』と思った。自分に限界はある。でもまた挑戦したい」